

山開きは音楽とともに 新しい形で迎える長野山の春



田植えも進み、すっかり春の様相になってきましたね。今月号の「えーる！」では、4月29日に行われた長野山山開きについてご紹介します。

今年は長野山にとって新しい春になります。昨年をもって、長野山の山頂付近に広がる「長野山緑地公園」は長野山生改連が管理する体制から、周南市の直営に変更となりました。

新体制で管理運営の始まった長野山は、いったいどんな山開きを迎えるのでしょうか？

鹿野から約30分ほどの道のりを越え、車を停めてドアを開けた瞬間、感じたのは「寒さ」。当日は、長袖のリネンシャツにジャケットという服装でしたが、1015メートルという長野山の標高を考えれば、この格好はあまりに薄着でした。

真冬とまではいかないまでも、震えがきそうなほど寒く、到着早々、長野山の気候に圧倒されることになりました。

これほど標高が高いと春の訪れも平野部に比べると遅く、公園の敷地内では、4月も終わりが近いというのに、なんと桜が咲いていました。

寒さをしのぐため入ったロッジはバザーの会場になっていました。しぶかわ工房さんの作った産品が並び、何を買おうかと考えていると、試食可能なたくあんが目にとまりました。一口食べるとなかなか好みの味。せっかくのご縁なので、たくあんを購入して帰ることにしました。ご飯が進みそうな漬かり具合です。

長野山は市の直営となったため運営体制が変わっています。開館・休館曜日の変更など、いくつか変更があるので、ご利用の際は周南市ホームページを確認してみてください。


新体制でスタートした長野山が、これからも多くの人に愛され、親しまれる場所になることを願って、心からエールを送ります！



市HPもご覧ください

変更内容

- ・開館曜日、休館曜日を変更いたします。
- ・宿泊受付及び一部の備品貸出を休止いたします。
- ・食堂(天空カフェ)は令和7年11月30日をもって営業を終了しました。



長野山の 自然を歩く



市主催の式典後、長野山ガイドウォークが開催されました。5種類ある長野山の遊歩道のうち、3番目に長いAコースをガイドさんの先導により進んでいくのですが……遊歩道と言いながら、平坦でゆっくり歩けるような道ではなく、落ち葉で埋め尽くされた道を、上ったり下ったり。中には小川が道を分断している場所があり、石を渡りながら進む場所もありました。

500メートルに満たない距離ながら、まさに自然を満喫することができるコースで、歩きごたえ十分でした。



♪ 長野山音楽祭 ♪

ガイドウォークからロッジまで戻り、一息ついてお昼から始まった長野山音楽祭は、例年4・5月に鹿野地域で実施されている「里山オープンガーデンかの」で行われている木漏れ日コンサートのひとつとして、ロッジの横にある、レクリエーション棟を会場に行われました。この建物は音がよく響くことから、「音楽を響かせないともったいない」という思いで、この長野山音楽祭は企画されました。木材をふんだんに使ったこの建物では、人気アーティストの曲から童謡まで幅広い曲が演奏され、すてきな音色が響き渡っていました。

